



学校・家庭・地域が連携した教育活動をより一層推進するため、7月に本校の教育活動に対する「保護者アンケート」を実施しました。今回は、ほぼすべての保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。また、授業や生活についてのアンケートを生徒や教職員にも実施しました。今回は、集計結果の概要についてお知らせします。

◆表中の数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒または保護者の割合です。

学校生活について

アンケートの結果では、「学校へ行くのが楽しい」と回答した生徒が全体の94%（1年生93%、2年生90%、3年生98%）で前期比+7%と増加しています。多くの生徒は学校で楽しく過ごすことができています。

	質 問 項 目	R4 前期	R3 後期	比較
生 徒	学校へ行くのは楽しいですか。	94%	93%	+1
	先生方は、自分の努力したことをほめたり、認めたりしてくれていますか。	95%	94%	+1
保護者	お子さまは、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	89%	86%	+3
	学校を信頼して子どもを預けていますか。	96%	95%	+1

一昨年度から続く、コロナ禍での活動であります。生徒たちは毎日元気に学校生活を送っています。学校にとって「生徒が毎日楽しく学校生活を過ごしてくれる」ことが何よりうれしいことです。日々の学校生活で目標を持ち、有意義な学校生活を送ってほしいと願っています。自ら進んで活動に取り組むことで、達成感や満足感を感じ、学級の友達との絆を一層深め、学校生活が楽しく充実したものになることを期待しています。

今後も、今以上に一人一人を大切に、きめ細かな指導を心がけ、一人でも多くの生徒が充実した学校生活を送り、保護者や地域からより信頼される学校となるように努めていきたいと思ひます。

学校では、学習環境のより一層の整備と、日々の観察や生活ノートから生徒一人一人を見取り、一人でも多くの生徒が「学校が充実していて楽しい」と思えるような指導・支援を心がけます。今後も保護者の皆様と連携を図り、心身共に健やかな生徒の育成に努めていきたいと思ひます。

学習について

昨年度から引き続き、本校における学力向上の重点課題の一つは、「自分の考えを積極的に表現できる生徒の育成」です。生徒アンケートにおいて、「自分の考えを積極的に表現できていますか」という問いに対して、『当てはまる』と言い切った生徒の割合は、全体の64%でした。『どちらかといえば当てはまる』と回答した生徒も含めると93%で、昨年度の数値に比べ大幅に上昇しました。

昨年度から、私たち教師側もこの「自分の考えを積極的に表現する生徒の育成」について、校内で研修会を行い共通理解・共通実践を積み重ねてきました。そして、なによりも生徒たちがこのことの重要性をきちんと理解し、授業のみならず、すべての学校生活の中で意識できたことが大きかったのだと思ひます。

昨年度から、私たち教師側もこの「自分の考えを積極的に表現する生徒の育成」について、校内で研修会を行い共通理解・共通実践を積み重ねてきました。そして、なによりも生徒たちがこのことの重要性をきちんと理解し、授業のみならず、すべての学校生活の中で意識できたことが大きかったのだと思ひます。

今後も現状に満足することなく、さらなる向上を目指し、積極的に自分の考えを表現できる生徒の育成に努めてまいります。



	質 問 項 目	R4 前期	R3 後期	比較
生 徒	授業はわかりやすいですか	96%	97%	-1
	課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができていますか	95%	93%	+2
	自分で計画を立てて勉強していますか	83%	81%	+2
	自分の考えを積極的に表現（書いたり・話したり）できていますか	93%	84%	+9
	自分の考えを相手に伝え、考えを深めることができますか	96%	85%	+11
	道徳の時間や様々な活動を通して人としての生き方について考えることができていますか	97%	96%	+1
保護者	学校は、分かりやすい授業や学力向上(学習内容の定着)に努めていますか	94%	95%	-1
	お子様は、家庭学習に毎日取り組んでいますか	84%	81%	+3
	お子様は、自分で計画を立てて勉強していますか	73%	72%	+1

4月に実施した1・2年生の市学力調査及び、3年生の県・全国学力調査では、各教科についての分析・考察を行い、具体的な改善のポイントを示し、授業に生かしているところです。今後も生徒が学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むよう「わかる授業」を目指していきます。

家庭学習においては、主体的に学習を進めることが大切です。部活動においては1週間に2日間の休養日を設定しています。休日や帰宅後の時間の使い方が重要です。メディアコントロールや睡眠時間の確保も含め、時間をコントロールする力が求められます。2学期も保護者の皆様と連携した家庭学習の取組「KATEGAKUタイム」を実施します。より良い学習習慣の確立のため、ご協力よろしくお願いします。今後も、保護者の皆様と連携して、より良い家庭学習の確立ができるよう、ご協力をお願いします。

将来について

本校では、3年間を通して、職業調べや高校調べなど「将来や生き方」に関する学習を計画的に行っています。「将来の夢や目標」に関する項目では、数値はどれもほぼ増加しています。これからも、将来の展望を持って学習や学校生活に取り組んでいけるよう指導していきたいと思ひます。

	質 問 項 目	R4前期	R3後期	比較
生 徒	将来の夢や目標を持っていますか。	78%	78%	±0
	自分には、よいところがあると思ひますか。	83%	82%	+1
保護者	お子様は、将来の夢や目標を持っていますか。	74%	69%	+5
	学校は将来のことや進路について考えさせる指導に努めていますか。	87%	87%	±0

「自分には、よいところがあるか」の自己肯定感を表す数値は83%(R3後期82%)となっております。生徒たちの頑張ったことを褒めて・認めることで、自分に自信を持って行動できるよう、励ましや声かけ、支援に努めていきたいと思ひます。

総合的な学習の時間や特別活動の時間などを通して、3年間スパンの「キャリア教育」の充実を図っていきます。ご家庭でも、目標や夢、将来の展望や将来の生き方についてお子様とじっくり話す機会を持っただけいただければと思ひます。

生活について

昨年度から『目指せ、あいさつ日本一』のスローガンのもと、生徒会が中心となって取り組んできました。

「あいさつ日本一の学校」とは、宇ノ気中にいるすべての生徒が、校内・家庭・地域であいさつができる集団になることです。校内でのあいさつは、この数年の中では断トツでよくなりました。次は、学校で学んだことを社会で生かすことです。ご家庭での声かけもぜひよろしくお願いします。



	質 問 項 目	R4前期	R3後期	比較
生 徒	黙働清掃ができていますか	96%	97%	-1
	家庭や地域で、しっかりとあいさつをしていますか	95%	95%	±0
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思ひますか	100%	99%	+1
	交通マナーを守って登校できていますか	99%	100%	-1
保護者	学校は、社会のルールや規範意識の育成に努めていますか	95%	96%	-1
	お子様は、家庭であいさつをしていますか	91%	96%	-5
	学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか	83%	79%	+4
	本校生徒の交通マナーはよいですか	82%	82%	±0

いじめについては、「どの学校でも、どの子供にも起こり得る」問題であることを十分認識し、「いじめは、どんな理由があっても、人間として絶対に許されない行為である」という意識を、一人一人の生徒に対して徹底し、これからもいじめの未然防止・早期発見に努めてまいります。

保護者の皆様、アンケートのご協力、また、貴重なご意見ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い宇ノ気中学校を創っていきたくて考えております。今後とも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

保護者の皆様からのご意見より

部活動に関すること

○部活動についてのアンケートや調査等は実施しているのでしょうか？1年生は特に新しい部活動で不安や悩み等を抱えている事があっても、なかなか相談できないのではと思います。

○部活の大会など、学校解散の時に予定より遅くなるとわかり次第、連絡がほしいです。予定時刻が記載されているのに帰ってこないとなると、このご時世心配になります。

大変ご心配をおかけしました。まず、部活動に関するアンケートについてですが、生徒たちには、毎月、月の振り返りという形で、日々の学校生活の中で困ったことや悩み等がないかを chromebook 等を使って確認しています。部活動に限らず、様々な事柄で悩みを抱えている場合もあるかと思うので、何でも相談していただければと思います。また、なかなか直接我々教師側に言いづらいお子様もいらっしゃると思いますので、遠慮なく保護者の方が連絡していただければと思います。

部活動の予定については、変更があり次第すみやかにご連絡いたします。今後も、コロナ禍ということもあって、大会運営については急な変更があったりする場合もあります。その際は、できるだけ早く保護者の方々にお知らせするようにいたします。今後ともよろしくお願いいたします。



端末に関すること

○ chromebook で YouTube を見えています。学習に関係ない事に使用しているので、毎日持ち帰る必要がないのではと思います。

文部科学省の考え方として、タブレットは特別なものではなく、文房具と同じという考えです。また、「毎日持ち帰る」ことについては、かほく市教育委員会から指示が出ています。学校としても、タブレット端末を小・中学校段階から使いこなし、プログラムを勉強していくことは、今後の社会の発展につなげる上で、とても大切なことだと考えています。さらに、コロナ禍において、各家庭に急な連絡を行う際にとっても有効的でもあります。ご家庭におかれましても、生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間や目的等を十分に話し合って効果的に使用していただければと思います。



自転車通学に関すること

○自転車通学の生徒たちで、下校中にヘルメットをせずに帰宅している様子をよく見かけます。

○登校時、自転車で右側通行をしている生徒を見かけたことがあります。徒歩の小学生を右側で追い越すという場面を見たことがあり、気になりました。ほとんどの生徒はしっかりルールを守り、一列になって左側を走っているのですが・・・。

日々、生徒たちの登下校の様子を見守っていただきありがとうございます。交通安全指導については、月初めの集会等で生徒に対して呼びかけを行ったり、テスト期間中に教員が各地区に立って下校指導を実施しています。特に自転車による事故は、直接命に係わる重大な事故につながる可能性が高く、また、加害者になりうる場合もあります。引き続き学校でも指導していくと同時に、保護者の方々におかれましても、何か気になることがあれば遠慮なく学校に連絡していただければと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〇いつもありがとうございます。コロナ禍でいろいろな制約がある中で、子どもたちのために行事等を何とかして行おうと奮闘してくださっていることに感謝しています。宇ノ気中の子たちの挨拶は爽やかで気持ちがいいですし、イオンとかで置きっぱなしのカゴやカートをさり気なく戻したり、お店の人にお礼を言ったりしている姿を見ることがあって感心しています。高校に行っても、大人になってもその気持ちを忘れないでほしいです。

ありがとうございます。昨年度より本校では、「人間力を高める」指導を重点的に行っています。具体的には、「時を守り・場を清め・礼を正す」ことを徹底し、生徒たちの人間力の向上を目指しています。これは、かほく市が生んだ世界的哲学者・京都大学名誉教授の西田幾多郎博士に学んだ、森信三という哲学者が提唱した「人間にとって大切な三原則」であります。

学校で学べることは多種多様です。大切なのは、学校で学んだことを、「いかに社会に出で生かせるか」です。実際、多くの企業が、あいさつがしっかりできるなどの「人間力」のある人材を求めていると聞きます。今後も、生徒たちが、たくましく生き抜く「人間力」を高められるよう、職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学習に関すること

〇なぜ計画的な勉強が必要か、そもそもなぜ勉強しなければいけないのか、家でも説明は続けていきますが、学校でもサポートしていただけると助かります。

〇2年生の学力が低い。学校はしっかり指導しているのでしょうか。

まずは、「なぜ、勉強しなければいけないのか？」についてですが、よく言ってしまうがちなのは

◇いい高校、いい大学に入るため ◇将来のため ◇なりたい職業につくため…

と、いうところでしょうか。もちろん、中学生にとって勉強する最大のモチベーションとなるのは、高校受験であることは言うまでもありません。現実的な目標として、近い将来必ずやってくる受験に関心がない中学生はいないと思います。では、受験をクリアするためにはどうすればよいのか…。極端な例えですが、出題されるであろう問題を予測し、ワークや問題集を使ってひたすら解く、書く、暗記すればある程度の点数は取れ、表面上の学力はつくかと思います。東京大学名誉教授で教育学者の汐見稔幸先生は、「なぜ勉強するのか」という問いに、次のように答えています。

「好奇心や思考力、表現力を伸ばすため」

テストで良い点数を取ることもちろん大切ですが、もっと広い視野で物事を考え、自分の言葉で表現する手段として勉強することが大切であるとも言っています。

さて、現在、本校では、自分の考えを積極的に表現する生徒の育成に力を入れています。これまでの教師主導型の授業から、生徒にどんどん意見を出させ、他者の考えと自分の考えを比較したりするなかで、「なるほど」「なぜそうなるのだろう」「こういう考え方もあるのか」など、深い学びを実現するための方策を教育委員会の指導・助言を受けながら進めています。確実に言えるのは、昨年から生徒の発言が増えてきている事と、学びに対する意欲が高まっている事です。スポーツの世界でも、「もっとうまくなりたい」「勝ちたい」という意欲こそが、競技力を向上するために必要不可欠であることは言うまでもありません。しかし、すぐに結果としてあらわれるわけではありません。学校で多くの仲間たちと意見を交わしながら学習に対する意欲を高め、「もっと知りたい」「今度のテストで頑張ってみよう」という思いを、家庭学習につなげていければ必ず成果としてあらわれてくると思います。尚、2年生の学力向上は本校の喫緊の課題です。今後も粘り強く指導を継続して参ります。ご家庭での協力もよろしくお願いいたします。

